

～Nami × 2 通信～

マイクロ波化学が、最新の業界動向やマイクロ波関連情報を配信します！

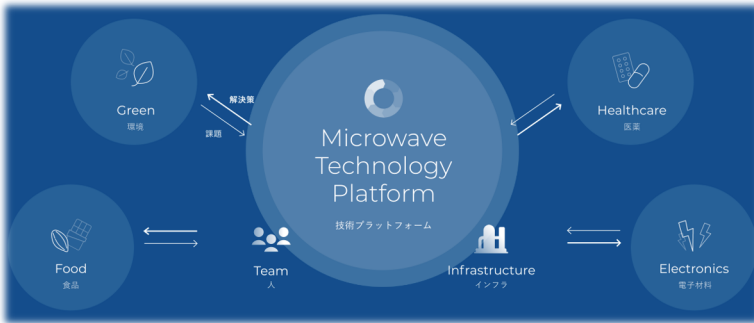
- 当社事業モデル・事業の推移
- 今後の展望・成長戦略

【当社事業モデルと事業の推移】

今回は、改めて当社の事業モデルと成長戦略についてご紹介します！

当社は「モノ」を売るメーカーではなく、パートナー企業の課題解決のために、「研究開発・エンジニアリング」をソリューションとして提供するプラットフォームビジネスを行っています。

その根幹を為すのが、**マイクロ波技術プラットフォーム**です。物質のマイクロ波吸収特性やマイクロ波の反応系・反応器デザインなどから成ります。価値の源泉であるこのプラットフォームを強化することで、パートナー企業の課題に対するソリューション力が向上し、各案件が次のフェーズに移行する確率が高まることに繋がります。



対象事業領域はあえて限定せず、あらゆる事業領域・プロセスに対応してきています。パートナー

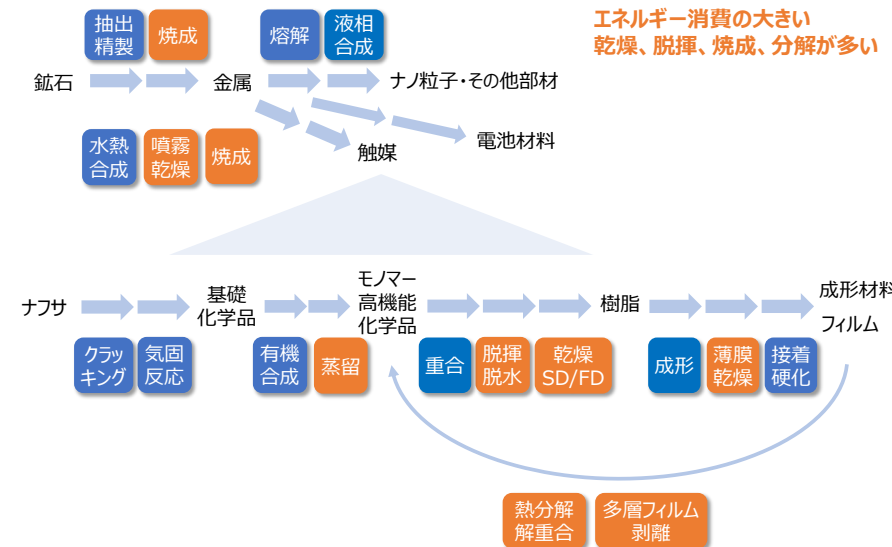
企業との共同開発やグラントなどを活用した自主開発の相乗効果により、日々提供可能なソリューションの質と幅を向上させています。

具体的な事業の進め方としては、お引き合いをいただくところからスタートします。ソリューション提案のための第一歩としてお持ちの課題をヒアリングし、プロジェクト全体の絵を描きます。プロジェクト開始後は、**ラボ開発 (Phase 1)**、**実証開発 (Phase 2)**、**事業化 (Phase 3)** に至るまで、パートナーとして歩みます。



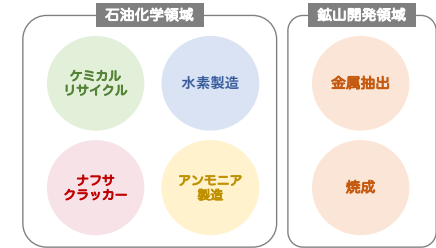
このような事業モデルの元、新規案件の数は年々増加しており、今年度末時点では50以上のプロジェクト数になる見込みです。

2020年10月に「2050年 カーボンニュートラル宣言」がなされて以降、特に、**乾燥・脱揮、焼成、分解**など、エネルギー消費量が多い単位操作の伸び率が高い傾向にあります。



【今後の展望・成長戦略】

当社は2022年6月24日に東証グロース市場に上場しました。上場で得た資金により、採用の強化や成長分野への先行開発投資を行います。特に、カーボンニュートラル関連では、**水素製造、クラッキング、鉱山開発 (金属精錬等)** に注力します。



また、特定顧客ではなく業界・市場に共通した「課題」に対してソリューションの標準化を行い、それを横展開することで、提供価値の向上と事業成長の好循環を生むことができると考えています。

2050年のカーボンニュートラル達成に向けて、電化・省エネ手段としてマイクロ波が果たす役割は非常に大きいと考えています。このニーズに応えられるよう、研究開発と事業開発が連携し、カーボンニュートラル社会の実現に貢献してまいります！

MWCC社員による一言日記

弊社は大阪大学内に本社を構えていることもあり、ほとんどが大阪大学出身で、職場では関西弁が飛び交っています、と思いきや意外と大阪大学出身者は少なく、関西弁を操る人も半分くらいです。そんな中でも阪神タイガースファンの声は大きいですが、ペナントレースの行方は如何に、！ “村神”選手の令和初の三冠王にも期待です！（亀田）

マイクロ波技術情報や弊社事業モデルの詳細は、弊社HPをご覧ください！

<https://mwcc.jp/business/>